

■総括

コミケットに参加しているということでは同じ立場でも、それぞれの目的や参加に対する意識が違えば、それぞれの参加者は全く違う環境下でコミケットを過ごしていると言える。

準備不足ではツライ思いをするのはもちろん、過ぎたるは及ばざるがごとしという言葉もある通り、自分の体力以上の携行品を持って行ってもかえって体力を損耗するだけになる。

目的が違えば必要な準備も異なる。自分に必要な準備を適切に知り、必要十分に整えることが快適な参加の基本なのだ。

●待ち合わせにはご用心…

参加目的や目当ての場所が違う友人同士で来場し、それぞれの目的を果たしに別れた方がいいが、待ち合わせの時間になっても誰も戻ってこない。電話しても繋がらなくて途方に暮れる。何度も電話をかけていると携帯の電池が減ってきて一層焦りがつのる……。

コミケットの片隅で（残念ながら）よく目撃される光景だ。

会期中は携帯が通じにくくなることもあるほか、携帯でのメールなども着信が著しく遅延する場合がある。リアルタイムの通話・通信に頼りきっていると、それが満足に使えなくなったとたんに連絡が全くつかなくなってしまう。

また、会場内では混雑、行列、トイレなど、巻き込まれたら簡単には抜け出せない要因がいくつも存在しているので、そういうものに捕まって時間に間に合わなくなることもある。

そういった状況があり得ることを全員が認識した上で、『絶対に守らねばならない集合時間』と、『それに間に合わない場合どうやって連絡を取り合うか』だけは必ず決めておこう。また、最悪待ち合わせできなくても各自行動できるように、交通費や切符などは必ず各個人で携帯し、交通ルートなどの情報も各自が把握しておくよう努めよう。

常に一緒に行動するのでなければ、一旦別れた後は帰宅するまで基本的には個人行動なのだと思っておく方が間違いはない。



■■寒くて暑くてどうすりゃいいの!?!■■

『冬コミは寒いって聞いたから、とにかく暖かくしていけばいいんでしょ?』というのは、実はピギナー参加者が陥りがちな最初の落とし穴だ。

夏のコミケットはどこまでも暑いだけなので、基本的に対策は一本槍で済む。だが、冬のコミケットは実は極寒から蒸し暑さまで様々な温度帯が入り混じっているのだ。寒いだろうからと厚手のダウンジャケットやスキーウェアなどを着込んで来たものの、入場してしばらくしたら汗だくになってしまっている参加者の姿は数多く見られる。

しかし、会場内で汗を多量にかいてしまうと、今度は帰宅時に会場から出た時点で寒気に一気に体温を奪われてしまう。

不十分な防寒対策のまま朝早くから長時間の屋外待機に臨んで寒さに震え、入場時間頃には体力を使い果たしてしまう本末転倒な参加者も少なくない。

中には入場までもたずに救護所に運ばれるケースもある。

体温は体力を維持するために大切な要素というよりも、体力そのものだといっても過言ではない。体温がやたら上がったり下がったりすることは、その都度無駄に体力を消耗していくことに他ならない。

一旦家を出てしまったら着替えも装備変更も簡単にはできない以上、着て行く物を適切に選択した上で会場内外の状況にあわせて調節し、適宜エネルギーや水分を補給して、できるだけ朝から帰宅まで自分のコンディションを一定に保つことが、寒暖差の激しい過酷な環境下での基本だ。ガマン大会ではないのだから好き好んできつい思いをする必要はない。コミケットでの体力勝負とは、いかに無駄な体力を消耗せずに一日を過ごせるかが重要なのだ。



■総括

コミケットに参加しているということでは同じ立場でも、それぞれの目的や参加に対する意識が違えば、それぞれの参加者は全く違う環境下でコミケットを過ごしていると言える。

準備不足ではツライ思いをするのはもちろん、過ぎたるは及ばざるがごとしという言葉もある通り、自分の体力以上の携行品を持って行ってもかえって体力を消耗するだけになる。

目的が違えば必要な準備も異なる。自分に必要な準備を適切に知り、必要十分に整えることが快適な参加の基本なのだ。

●待ち合わせにはご用心…

参加目的や目当ての場所が違う友人同士で来場し、それぞれの目的を果たしに別れた方がいいが、待ち合わせの時間になっても誰も戻ってこない。電話しても繋がらなくて途方に暮れる。何度も電話をかけていると携帯の電池が減ってきて一層焦りがつのる……。

コミケットの片隅で(残念ながら)よく目撃される光景だ。

会期中は携帯が通じにくくなることもあるほか、携帯でのメールなども着信が著しく遅延する場合がある。リアルタイムの通話・通信に頼りきっていると、それが満足に使えなくなったとたんに連絡が全くつかなくなってしまう。

また、会場内では混雑、行列、トイレなど、巻き込まれたら簡単には抜け出せない要因がいくつも存在しているので、そういうものに捕まって時間に間に合わなくなることもある。

そういった状況があり得ることを全員が認識した上で、『絶対に守らねばならない集合時間』と、『それに間に合わない場合どうやって連絡を取り合うか』だけは必ず決めておこう。また、最悪待ち合わせできなくても各自行動できるように、交通費や切符などは必ず各個人で携帯し、交通ルートなどの情報も各自が把握しておくよう努めよう。

常に一緒に行動するのでなければ、一旦別れた後は帰宅するまで基本的には個人行動なのだと思っておく方が間違いはない。



■■寒くて暑くてどうすりゃいいの!?!■■

『冬コミは寒いって聞いたから、とにかく暖かくしていけばいいんでしょ?』というのは、実はビギナー参加者が陥りがちな最初の落とし穴だ。

夏のコミケットはどこまでも暑いだけなので、基本的に対策は一本槍で済む。だが、冬のコミケットは実は極寒から蒸し暑さまで様々な温度帯が入り混じっているのだ。寒いだろうからと厚手のダウンジャケットやスキーウェアなどを着込んで来たものの、入場してしばらくしたら汗だくになってしまっている参加者の姿は数多く見られる。

しかし、会場内で汗を多量にかいてしまうと、今度は帰宅時に会場から出た時点で寒気に一気に体温を奪われてしまう。

不十分な防寒対策のまま朝早くから長時間の屋外待機に臨んで寒さに震え、入場時間頃には体力を使い果たしてしまう本末転倒な参加者も少なくない。

中には入場までもたずに救護所に運ばれるケースもある。

体温は体力を維持するために大切な要素というよりも、体力そのものだといっても過言ではない。体温がやたら上がったり下がったりするということは、その都度無駄に体力を消耗していくことに他ならない。

一旦家を出てしまったら着替えも装備変更も簡単にはできない以上、着て行く物を適切に選択した上で会場内外の状況にあわせて調節し、適宜エネルギーや水分を補給して、できるだけ朝から帰宅まで自分のコンディションを一定に保つことが、寒暖差の激しい過酷な環境下での基本だ。ガマン大会ではないのだから好き好んできつい思いをする必要はない。コミケットでの体力勝負とは、いかに無駄な体力を消耗せずに一日を過ごせるかが重要なのだ。



■総括

コミケットに参加しているということでは同じ立場でも、それぞれの目的や参加に対する意識が違えば、それぞれの参加者は全く違う環境下でコミケットを過ごしていると言える。

準備不足ではツライ思いをするのはもちろん、過ぎたるは及ばざるがごとしという言葉もある通り、自分の体力以上の携行品を持って行ってもかえって体力を損耗するだけになる。

目的が違えば必要な準備も異なる。自分に必要な準備を適切に知り、必要十分に整えることが快適な参加の基本なのだ。

●待ち合わせにはご用心…

参加目的や目当ての場所が違う友人同士で来場し、それぞれの目的を果たしに別れた方がいいが、待ち合わせの時間になっても誰も戻ってこない。電話しても繋がらなくて途方に暮れる。何度も電話をかけていると携帯の電池が減ってきて一層焦りがつのる……。

コミケットの片隅で（残念ながら）よく目撃される光景だ。

会期中は携帯が通じにくくなることもあるほか、携帯でのメールなども着信が著しく遅延する場合がある。リアルタイムの通話・通信に頼りきっていると、それが満足に使えなくなったとたんに連絡が全くつかなくなってしまう。

また、会場内では混雑、行列、トイレなど、巻き込まれたら簡単には抜け出せない要因がいくつも存在しているので、そういうものに捕まって時間に間に合わなくなることもある。

そういった状況があり得ることを全員が認識した上で、『絶対に守らねばならない集合時間』と、『それに間に合わない場合どうやって連絡を取り合うか』だけは必ず決めておこう。

また、最悪待ち合わせできなくても各自行動できるように、交通費や切符などは必ず各個人で携帯し、交通ルートなどの情報も各自が把握しておくよう努めよう。

常に一緒に行動するのでなければ、一旦別れた後は帰宅するまで基本的には個人行動なのだと思っておく方が間違いはない。



■■寒くて暑くてどうすりゃいいの!?!■■

『冬コミは寒いって聞いたから、とにかく暖かくしていけばいいんでしょ?』というのは、実はビギナー参加者が陥りがちな最初の落とし穴だ。

夏のコミケットはどこまでも暑いだけなので、基本的に対策は一本槍で済む。だが、冬のコミケットは実は極寒から蒸し暑さまで様々な温度帯が入り混じっているのだ。寒いだろうからと厚手のダウンジャケットやスキーウエアなどを着込んで来たものの、入場してしばらくしたら汗だくになってしまっている参加者の姿は数多く見られる。

しかし、会場内で汗を多量にかいてしまうと、今度は帰宅時に会場から出た時点で寒気に一気に体温を奪われてしまう。

不十分な防寒対策のまま朝早くから長時間の屋外待機に臨んで寒さに震え、入場時間頃には体力を使い果たしてしまう本末転倒な参加者も少なくない。

中には入場までもたずに救護所に運ばれるケースもある。

体温は体力を維持するために大切な要素というよりも、体力そのもののだといっても過言ではない。体温が上がったり下がったりするということは、その都度無駄に体力を消費していくことに他ならない。

一旦家を出てしまったら着替えも装備変更も簡単にはできない以上、着て行く物を適切に選択した上で会場内外の状況にあわせて調節し、適宜エネルギーや水分を補給して、

できるだけ朝から帰宅まで自分のコンディションを一定に保つことが、寒暖差の激しい過酷な環境下での基本だ。ガマン大会ではないのだから好き好んできつい思いをする必要はない。コミケットでの体力勝負とは、いかに無駄な体力を消耗せずに一日を過ごせるかが重要なのだ。

